



Nomura Research Institute Group

2020 年 3 月 10 日

NRI セキュアテクノロジーズ株式会社

NRI セキュア、継続的にセキュリティ強化を支援する新プランを、 セキュリティ対策実行支援プラットフォーム「Secure SketCH」に追加

NRI セキュアテクノロジーズ株式会社（以下「NRI セキュア」）は、企業が情報セキュリティ対策を実行する際の支援プラットフォーム「Secure SketCH（セキュア スケッチ）」において新たな有償プラン「PREMIUM プラン（以下「本プラン」）」を 2020 年 2 月 26 日に提供開始しました。これに伴い、従来提供してきました「STANDARD プラン」は、3 月 10 日をもって新規のお申込み受付を終了します。

「Secure SketCH」は、企業の情報セキュリティ担当者が Web 上で約 80 の設問に回答することで、自社におけるセキュリティ対策の状況を定量的に可視化することができ、必要な対策の把握と推進に役立てることができるサービスです。本年 3 月 10 日現在、計 1,500 社以上¹の企業に利用されており、有償プランの利用法人数も 250 社を超え²、規模や業種を問わず利用されています。

情報セキュリティを取り巻く環境は、常に変化しています。本プランは、企業が環境の変化に柔軟に対応し、セキュリティ対策に関わる PDCA 活動を着実に遂行できるよう、「STANDARD プラン」の一部機能を拡充し、新機能を追加しました。本プランをご利用いただくことで、ある時点のセキュリティレベルを評価するだけでなく、継続的に評価・対策を実行することができ、セキュリティレベルを向上させていくことが可能になります。

「Secure SketCH」の「PREMIUM プラン」における、セキュリティレベルの評価画面（イメージ）



■ 「PREMIUM プラン」が備えるおもな機能の一覧

自動診断機能 (SecurityScorecard 連携)	米国 SecurityScorecard 社のセキュリティ格付けサービスと連携 ³ し、インターネット上の公開情報を元に、作業負荷なしに自動的かつ継続的にセキュリティ診断ができる機能です。従来はオプションとして提供してきましたが、本プランでは、標準機能として利用できます。
企業属性別分析機能	「Secure SketCH」に登録されている 2,000 社以上の登録データから、「業種」「売上規模」「従業員規模」などの属性で絞り込んで、セキュリティ対策のレベルについて、他社と自社の結果を比較できる機能です。従来は「業種」の分類が 10 種でしたが、本プランでは約 30 種となり、より詳細な条件で分析、比較できるようになりました。「セキュリティ対策をどの程度まで実施すべきか」を検討する際に、ベンチマークとしてご活用いただけます。
ガイドラインチェック機能	「Secure SketCH」の設問に回答するだけで、国内外の主要なセキュリティガイドライン ⁴ に対する自社の対応状況を、Web 上で確認できる機能です。新プランでは、グラフや対策実施率で可視化する機能と、CSV ファイルへの出力機能を追加しました（新たに追加する機能は、2020 年 4 月以降の提供開始を予定）。
対策計画機能	現在のセキュリティレベルの評価状況に応じて、今後必要なセキュリティ対策を推奨し、対策実行までのロードマップを自動表示する機能です。新プランでは、担当者がロードマップの内容を編集して、オリジナルの対策計画を作成できる機能を追加しました（追加機能は、2020 年 8 月以降の提供開始を予定）。
タスク管理機能（※）	対策計画機能で作成したロードマップを着実に遂行するために必要な日々のタスクを作成し、Web 上でタスク管理を行える機能です。セキュリティの評価・計画だけでなく、対策の実行までを Web 上でシームレスに行えるようになります（2020 年 8 月以降に提供開始を予定）。
証跡管理機能（※）	自社のセキュリティ評価・対策に関する証跡を管理するための機能です。「Secure SketCH」の設問に紐づけて、ファイルや URL といった証跡をアップロードすることができるため、設問への回答の正確さや信ぴょう性を検証できるようになります。

（※印は、本プランで新たに追加されたおもな機能です。）

Secure SketCH の「PREMIUM プラン」の詳細については、以下の Web サイトをご参照ください。関連の資料もダウンロードいただけます。

<https://www.secure-sketch.com/function>

NRI セキュアは今後も、企業・組織の情報セキュリティ対策を支援するさまざまな製品・サービスを提供し、グローバルな規模で安全・安心な情報システム環境と社会の実現に貢献していきます。

¹ 無償の「FREE プラン」と、有償の「STANDARD プラン」「GROUPS プラン」の利用法人数の合計です。

² 有償の「STANDARD プラン」「GROUPS プラン」の利用法人数の合計です。

³ 自動診断機能（SecurityScorecard 連携）：

SecurityScorecard 社とのサービス連携や詳細については、2019 年 6 月 27 日の発表「セキュリティ対策実行支援プラットフォーム『Secure SketCH』に、外部攻撃者の視点でセキュリティ耐性を測る機能を追加」(<https://www.nri-secure.co.jp/news/2019/0627>)をご参照ください。

⁴ 国内外の主要なセキュリティガイドライン：

現在、「NIST Cyber Security Framework 1.1」「経済産業省 サイバーセキュリティ経営ガイドライン Ver 2.0」「CIS Controls V7.1」「経済産業省 情報セキュリティ管理基準（平成 28 年改正版）」に対応しています。今後、「NIST SP800-171」「米国防総省 Cybersecurity Maturity Model Certification（CMMC）」などにも対応予定です。

【お知らせに関するお問い合わせ先】

NRI セキュアテクノロジーズ株式会社 広報担当

TEL：03-6706-0622 E-mail：info@nri-secure.co.jp

【ご参考】

■ 「自動診断機能（SecurityScorecard 連携）」の画面イメージ



■ 「企業属性別分析機能」の画面イメージ（属性を絞り込む際の設定画面）

比較する条件の変更

×

業界

☐ 製造
☐ 機械・電気製品
☐ 輸送機器・部品製造
☐ 金属
☐ 化学
☐ バイオ・医薬品
☐ 繊維・アパレル
☐ 食品
☐ その他製品製造
☐ その他素材・素材加工品

☐ 金融
☐ 銀行
☐ 証券
☐ 保険
☐ その他

☐ 小売・流通
☐ 小売
☐ 商社・卸売
☐ 運輸

☐ 情報処理
☐ システム・ソフトウェア開発
☐ メディア・広告
☐ 通信
☐ その他情報処理

☐ インフラ
☐ エネルギー
☐ 鉄道・航空

☐ 建設・不動産
☐ 建設
☐ 不動産

☐ サービス
☐ 法人
☐ 消費者
☐ 医療
☐ 飲食
☐ 教育

規模（売上）

☐ 1億円未満
☐ 1億～10億円未満
☐ 10億～50億円未満
☐ 50億～100億円未満
☐ 100億～1000億円未満
☐ 1000億～5000億円未満
☐ 5000億～1兆円未満
☐ 1兆円以上

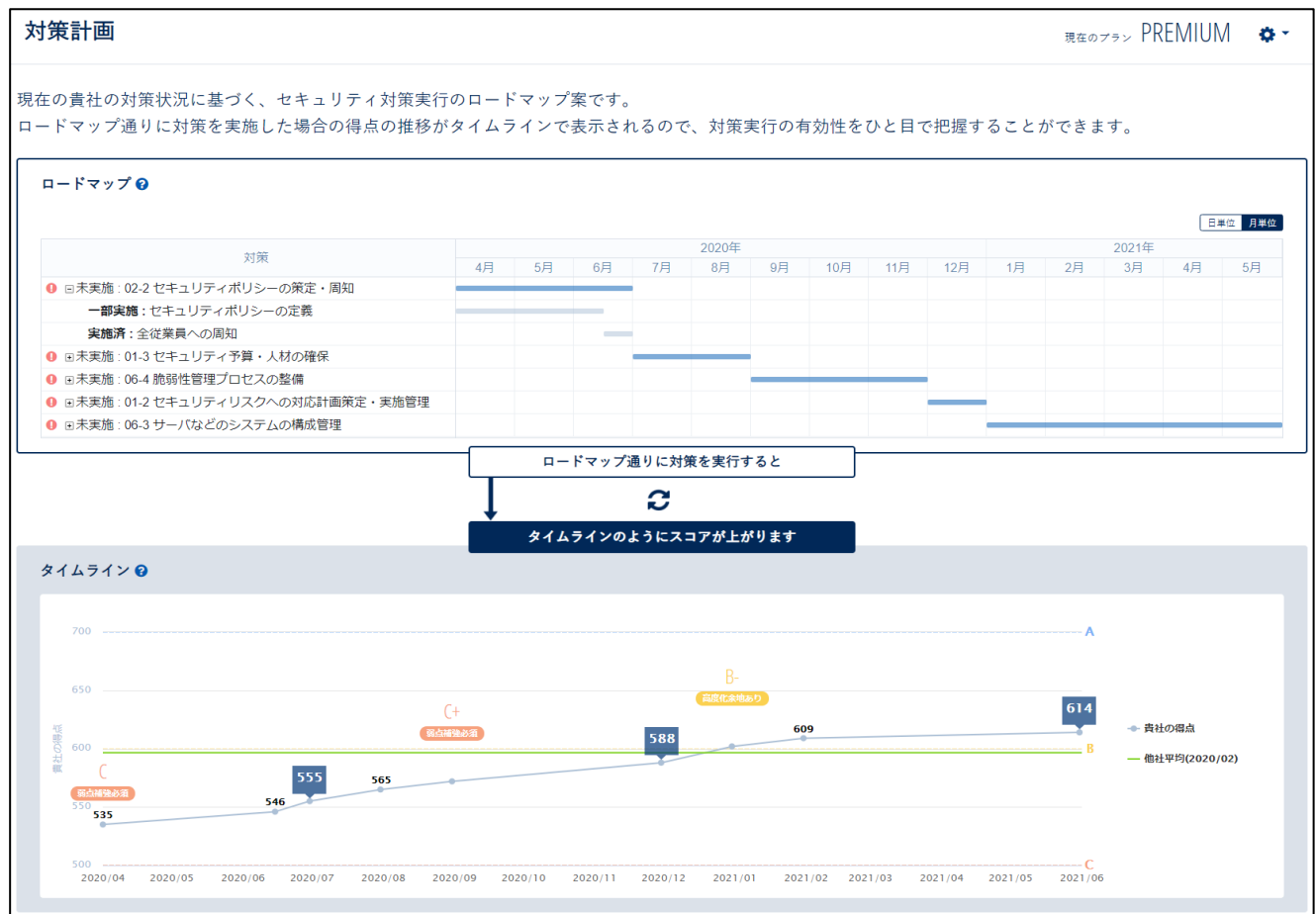
規模（従業員）

☐ 50人未満
☐ 50～100人未満
☐ 100～300人未満
☐ 300～1千人未満
☐ 1千～2千人未満
☐ 2千～5千人未満
☐ 5千～1万人未満
☐ 1万人以上

■ 「ガイドラインチェック機能」の画面イメージ



■ 「対策計画機能」の画面イメージ



■ 「タスク管理機能」の画面イメージ

タスク管理

現在のプラン PREMIUM

+ タスクを追加

絞り込み ステータス

着手

番号	題名	ステータス	担当者	優先度	設問	期日	更新日	編集	削除
01	メールを使ったサイバー攻	完了		高い	01-1 重要度に応じた物理ゾーニング	2019/12/31	2019/10/24		
02	セキュリティポリシーの策	着手	浜崎正人	通常	01-2 セキュリティポリシーの策定・	2019/11/02	2019/09/31		
03	パスワードポリシーの策	着手	佐々木五郎丸	低い	01-3 パスワードポリシーの策定・周	2019/01/22	2019/10/24		
04	端末の物理的な管理	未着手	森田裕子	低い	01-4 メールを使ったサイバー攻撃へ	2020/02/22	-		
05	メールを使ったサイバー攻	完了	赤坂太郎	高い	01-5 重要度に応じた物理ゾーニング	2019/12/31	2019/10/24		
06	セキュリティポリシーの策	着手	浜崎正人	通常	01-6 セキュリティポリシーの策定・	2019/11/02	2019/09/31		
07	パスワードポリシーの策	着手	佐々木五郎丸	低い	02-1 パスワードポリシーの策定・周	2019/01/22	2019/10/24		
08	端末の物理的な管理	未着手	森田裕子	低い	02-2 メールを使ったサイバー攻撃へ	2020/02/22	-		